

はじめに

実践1

実践2

まとめ



(図)

活動導入



北海道岩見沢農業高校



搾乳牛16頭 育成牛6頭 和牛3頭

導 入

はじめに

実践1

実践2

まとめ

R4 7月和牛受精卵移植（3頭）



高大連携授業

はじめに

実践1

実践2

まとめ

R4 7月和牛受精卵移植（3頭）



R5 4月和牛3頭誕生

高犬連携授業

はじめに

実践1

実践2

まとめ

R4 7月和牛受精卵移植（3頭）



R5 4月和牛誕生（3頭）



R6 肥育開始 ← **今年度**



R7 肥育出荷 雌牛分娩

はじめに

実践1

実践2

まとめ

未来桜

並木桜



勝早桜5 × 北平安 × 美津照重

はじめに

実践1

実践2

まとめ

活動記録

- ・ 哺乳
- ・ 生育調査
- ・ 子牛登記
- ・ 腹づくり
- ・ 飼料準備



はじめに

実践1

実践2

まとめ

活動記録

哺乳



乳牛子牛の場合
→パイプライン内に残
る生乳の活用

和牛子牛の場合
→和牛子牛用の粉ミ
ルク

はじめに

実践1

実践2

まとめ

活動記録

腹づくり

複合経営のメリット！



およそ13haで千モシー主体の牧草を栽培

はじめに

実践1

実践2

まとめ

活動記録

飼料

購入粗飼料 0円

グローバルGAP×JGAP

自校農場GGAP認証農場で収穫

はじめに

実践1

実践2

まとめ

活動記録

飼料

肥育中期前半から稲
わらに切り替え
食い込み悪く試行錯誤

飼料の食べにくさに
問題あり！！



当初は…15cm程度、草架に不断給餌

改善後…2～4cmにカット、配合に混ぜる

はじめに

実践1

実践2

まとめ

活動記録

子牛登記

受精卵移植のため



鼻紋採取



鼻腔内試料採取と
毛根も採取

はじめに

実践1

実践2

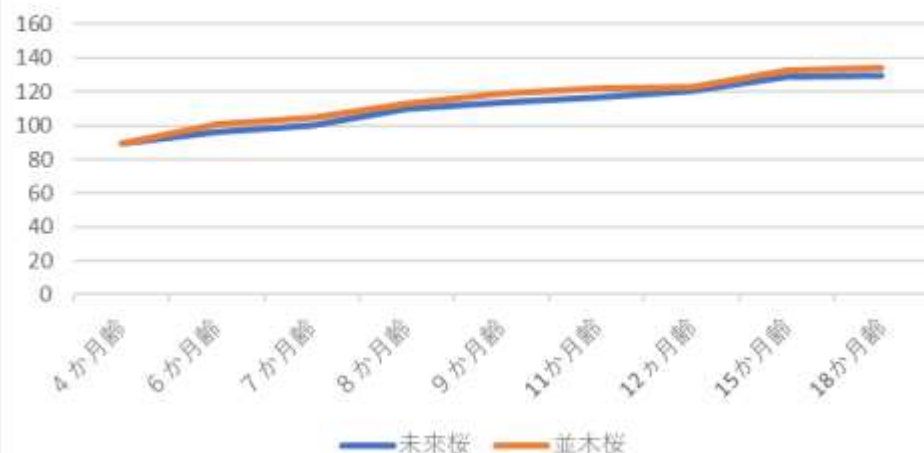
まとめ

活動記録

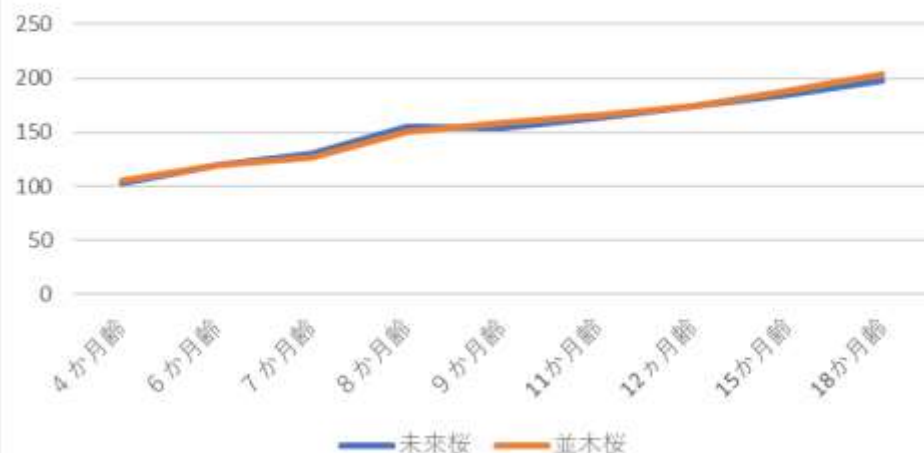
生育調査

目に見える体格差は見られず

体高



胸囲



出荷時33か月齢 ケガ、病
気に気を付けて管理する！

はじめに

実践 1

実践 2

まとめ

活動記録

血液検査 自給飼料作り



はじめに

実践1

実践2

まとめ

活動記録



血液検査実施日
10月8日
月齢18か月齢



VA、VE、 γ -GTP、T-Cho

はじめに

実践 1

実践 2

まとめ

活動記録

検査結果

並木桜

ビタミンA

108IU / DL

コレステロール

171mg / DL

γ -GTP

17 U/L

未来桜

ビタミンA

120IU / DL

コレステロール

155mg / DL

γ -GTP

17 U/L

はじめに

実践 1

実践 2

まとめ

活動記録

検査結果から

- ・ビタミンA濃度が $100\text{IU}/\text{DL}$ を2頭ともに超えており、**数値が高い**
- ・ γ -GTPは低く、T-Cholは標準

今後の管理

- ・飼育方法の見直し
- ・給与量の増加を目指す

はじめに

実践 1

実践 2

まとめ

検査結果から

活動記録



隣の房から
牧草を
盗み食い疑惑

早急な対策が必要！！

はじめに

実践1

実践2

まとめ

活動記録

自給飼料

せっかく和牛飼育をするなら…

空知管内
10を超えるワイナリー

地域の特色ある和牛作りをしたい！！

はじめに

実践1

実践2

まとめ

自給飼料作り

活動記録

過去3年の実績から
ぶどう粕単体だと食い込みが
よくない！



はじめに

実践1

実践2

まとめ

活動記録

自給飼料作り

- ・水分調整、嗜好性向上のためふすま混ぜる
- ・枝や種はえぐみがあるため除去する



はじめに

実践1

実践2

まとめ

活動記録

成分分析

←現在分析中

ホクレン 支所名	本所	受付年月日 2024/11/12	分析所受付番号 2420008	JAコード 4	生産者コード 4000
農協名	調子	分析料金	基本分析	選択分析1	2分析
組合員名	調子府実証農場	報告年月日 2024/11/15	生産者サンプル番号 岩見沢農高ブドウ粕		
粗飼料 生産年		粗飼料名 その他	調製形態 ブドウ粕	刈取番草 番草	生育ステージ

○基本分析結果

分析成分		原物中	乾物中	全道平均
水分	%	45.55		
乾物(DM)	%	54.45		
pH		4.60		
粗蛋白質(CP)	%	8.84	16.23	
溶解性蛋白質(SIP)	%			
IF	CP %			

分析成分		原物中	乾物中	全道平均
有効蛋白質(AP)	%			
粗繊維(CFib)	%			
粗灰分(CAsh)	%	3.07	5.64	
30時間NDF消化率(NDFD30h)	%			
120時間NDF消化率(NDFD120h)	%			
240時間NDF消化率(NDFD240h)	%			

- ・過去3年間の実績からふすまを混ぜることで嗜好性が向上
- ・配合飼料の食いどまりを防止する働きを期待しているが現在、検証中
- ・粗飼料の補給にも繋がりたい

はじめに

実践 1

実践 2

まとめ

- ・ 2022年から始まった和牛の物語を通して年代を超えた活動ができている
- ・ 増体は順調だが、配合飼料の給与方法を工夫し増体を図る
- ・ 副産物を活用した飼料設計を定着させる



挑戦！0から始まる 岩農和牛



北海道岩見沢農業高校畜産科学科